

# 熊本地震



## 第4章

### 被害状況・テーマ別 アンケート結果

- アンケート実施時期:平成29年(2017年)9月
- アンケート対象施設:下記35施設

#### 県 央

- 1.市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)
- 2.宇土市民会館
- 3.熊本県立劇場
- 4.熊本市男女共同参画センター はあもにい
- 5.益城町文化会館
- 6.御船町カルチャーセンター
- 7.熊本市植木文化センター
- 8.熊本市国際交流会館
- 9.熊本市子ども文化会館
- 10.熊本市健康文化ホール
- 11.火の君文化センター
- 12.くまもと森都心プラザ
- 13.嘉島町民会館
- 14.宇城市松橋総合体育文化センター(ウイングまつぼせ)
- 15.美里町文化交流センター「ひびき」
- 16.清和文楽館
- 17.熊本産業展示場(グランメッセ熊本)

#### 県 北

- 18.玉名市民会館
- 19.菊池市市民会館
- 20.大津町生涯学習センター
- 21.荒尾総合文化センター
- 22.合志市文化会館(総合センター「ヴィーブル」)
- 23.ながす未来館
- 24.八千代座
- 25.菊陽町図書館ホール

#### 県 南

- 26.八代市厚生会館
- 27.天草市民センター
- 28.水俣市文化会館
- 29.天草市牛深総合センター
- 30.人吉市カルチャーパレス
- 31.つなぎ文化センター
- 32.あさぎり町須恵文化ホール
- 33.上天草市松島総合センター「アロマ」
- 34.やつしろハーモニーホール
- 35.苓北町民ホール志岐集会所

何が起り、どのように対応したのか?

そしてそこから見えてきたものは?

# 1. 施設の物理的被害状況について

## ● 躯体は損傷したか?



## ● 客席天井は損傷をうけたか?



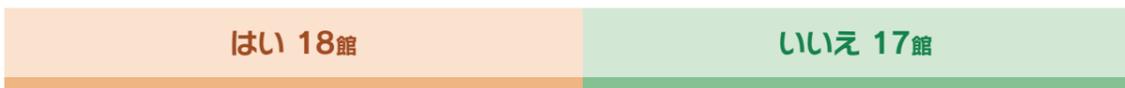
### ● 損傷の内容はどのようなものか? → [特定天井]

- (a) 脱落した【数】 4 / 熊本市市民会館・熊本市健軍文化ホール・火の君文化センター・グランメッセ熊本
- (b) 仕上げ材等が損傷した【数】 7 / 宇土市民会館・熊本県立劇場・荒尾総合文化センター・熊本市子ども文化会館・菊陽町図書館ホール・くまもと森都心プラザ【ごく一部に剥離あり】・グランメッセ熊本
- (c) その他・具体的に→
  - ロビーホワイエの吊天井及び壁面の一部が崩落。ホール内の吊天井は目立った被害はないが、吊物等の舞台装置のセンター位置のズレや不定期にきしみ音が発生(益城町文化会館)
  - 文化会館客席吊り天井裏ボルト・クリップ等の脱落・損傷等(合志市文化会館)
  - 吊天井金具の落下。一部、天井版の破損(ウイングまつばせ)

### ● 損傷の内容はどのようなものか? → [特定天井以外]

- (a) 脱落した【数】 2 / 部分的(御船町カルチャーセンター)  
天井裏の吊りボルトが多数外れ、ゆがみ(くまもと森都心プラザ)
- (b) 仕上げ材等が損傷した【数】 2 / 天材の一部落下、防煙ガラス破損・落下(玉名市民会館・熊本県立劇場)
- (c) その他・具体的に→
  - 天井そのものは被害がなかったが、天井に設置されたシャンデリアが大きく揺れたことによりお互いにぶつかり合い損傷し、多くの硝子破片や照明器具が落下した(熊本市国際交流会館)
  - サスペンションバトンがぶつかり合い表面が損傷(くまもと森都心プラザ)

## ● 吊物等の舞台装置は損傷を受けたか?



### ● 損傷の箇所、復旧対応とその時期は?

- 具体的に→
- 綱元分銅の散乱、ケーブルの破損(熊本市市民会館)
  - 反響板ワイヤーのゆるみ、吊クリップの外れ、ホリゾン幕の破れを平成28年4月29日に点検し、6月20日、21日に復旧した(玉名市民会館)
  - ガイドレールの変形によるウエイトの外れ(演劇ホール)(熊本県立劇場)
  - スノコ(天井裏)の照明バトンや道具バトンのワイヤロープが隣接する吊物の滑車に絡まったほか、しぼり緞帳を収納する開閉式の天井フタが破損し、空いたままの状態で使用禁止(益城町文化会館)
  - メインホール反響板・吊物ガイドレール破損・損傷(熊本市男女共同参画センターはあもにい)

- 緞帳用ウェート押え(半割特型)破損、平成28年8月にウェート押え(半割特型)交換(熊本市植木文化センター)
- 天井から立ち降りているワイヤーの脱輪。平成28年5月下旬に通常保守点検内で修復(熊本市国際交流会館)
- 損傷の箇所; 下手電動綱元ガイドレール(ブラケット・固定金具)、電動カウンターウェートガイドシュー金物、バトンパイプ、袖幕1下手延長パイプ、下手電動綱元、ワイヤー、リミットスイッチ  
復旧対応; 取替、修理及び調整等  
復旧対応の時期; 平成29年4月から11月(復旧工事期間中)(熊本市健軍文化ホール)
- 巻き上げ軸を打ち込んでいるコンクリート壁に亀裂が入り、安全性が不明なため動作未確認。復旧時期未定(熊本市子ども文化会館)
- ガイドシューがレールから外れメーカーが修理(菊池市市民会館)
- 音響反射板の損傷、舞台機構の損傷(どちらも平成28年7月に復旧)(菊陽町図書館ホール)
- 側面音響反射板(観音扉式)にゆがみ。天井音響反射板(吊下げ式)の滑車が破損(くまもと森都心プラザ)
- 設置してあった舞台装置の左右側面扉金具の損傷、化粧板の損傷(嘉島町民会館)
- 天井裏にある吊りバトン巻き取り装置等の設備が横倒しとなり損傷(グランメッセ熊本)

## ● 音響機材・設備は損傷を受けたか?



### ● 損傷の箇所、復旧対応とその時期は?

- 具体的に→
- プロセニアムスピーカーが脱落破損したためフロント照明室より仮設のスピーカー取付(宇土市民会館)
  - プロセニアムスピーカー、三点吊マイクのワイヤーがゆるみ、平成28年4月15日に点検し、6月27日に復旧した(玉名市民会館)
  - マイク等が倉庫内で散乱し、ワイヤレスマイクが1本故障。調整室内の音響卓が土台より落下し、故障中(益城町文化会館)
  - (復旧時期)平成29年度中を予定(御船町カルチャーセンター)
  - プロセニアムスピーカーが若干移動し、保護カバーを少しだけ損傷させた。平成28年5月中に修復(熊本市国際交流会館)
  - 損傷の箇所; 音響室デジタルミキサー、客室メインスピーカー  
復旧対応; デジタルミキサーオーバーホール、メインスピーカー取替等  
復旧対応の時期; 平成29年4月から11月(復旧工事期間中)(熊本市健軍文化ホール)
  - 多目的ホール操作室の天井脱落により、操作卓上に化粧石膏ボード等が落下し、使用不能。復旧時期未定(熊本市子ども文化会館)
  - 機材・スピーカー等損傷 平成30年度に復旧予定(火の君文化センター)
  - 音響反射板の固定ピンが破損した。数日中に固定ピンを取り換えた(美里町文化交流センター「ひびき」)
  - メインスピーカーが倒れる。配線ダクトの固定が外れる。マイク、スタンド等の故障(くまもと森都心プラザ)
  - 一部配線等の損傷あり(グランメッセ熊本)

## 1. 施設の物理的被害状況について

### ●照明機材・設備は損傷を受けたか？

はい 12館

いいえ 23館

#### ●損傷の箇所、復旧対応とその時期は？

具体的に→

- シーリングスポットの脱落、ピンスポットライトの転倒破損(熊本市市民会館)
- ピンスポットライト2台が転倒破損したため、平成28年12月に新規灯体購入(宇土市民会館)
- 移動用照明機材の一部落下による破損(熊本県立劇場)
- ピンスポットが1台転倒し故障、修理不能。また様々な灯体が転倒し、変形や破損多数(益城町文化会館)
- 損傷の箇所:客室天井照明 復旧対応:全数取替 復旧対応の時期:平成29年4月から11月(復旧工事期間中)(熊本市健軍文化ホール)
- 機器の客席への落下、脱落。復旧時期未定(熊本市子ども文化会館)
- 照明設備の配線が揺れにより断線した(菊池市市民会館)
- 損傷箇所は、平成30年度に復旧予定(火の君文化センター)
- ピンスポットが倒れる。灯体の球が割れる(くまもと森都心プラザ)
- 2階に設置してあったピンスポットが2台転倒し、損傷を受けた(嘉島町民会館)
- 天井の水銀灯等の照明が枠を外れて落下。また、枠自体も落下し損傷(グランメッセ熊本)

### ●空調設備は損傷を受けたか？

はい 14館

いいえ 20館

無回答 1館

#### ●損傷の箇所、復旧対応とその時期は？

具体的に→

- 大ホール客席上部の吹出口カバー脱落(熊本市市民会館)
- 高架水槽破損による停止。ダクトカバーの破損。吸排気吹出し口カバー破損(熊本県立劇場)
- ダクトブラケット数箇所脱落。天井裏の排気ダクトの一部が脱落(益城町文化会館)
- 避難所になったことにより3か月間ノンストップ運転を行ったため使用過多・オーバーロードによる室外機不良の続出(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 補給水槽配管破損、平成28年6月に交換(熊本市植木文化センター)
- 揺れによる機器の接合部などが損傷し吸収式冷温水器装置の躯体に穴が空き、真空状態が保てなくなった。平成28年6月までに仮修復し、中間期の11月頃に本格的な修繕を実施(熊本市国際交流会館)
- 損傷の箇所:客室天井吹き出し口、エアハンドリングユニット 復旧対応:更新 復旧対応の時期:平成29年4月から11月(復旧工事期間中)(熊本市健軍文化ホール)
- 配管が外れる。現在も総合センターの復旧工事中(平成30年3月16日までの予定)(合志市文化会館)
- 損傷箇所は、平成30年度に復旧予定(火の君文化センター)
- ホール天井裏の空調ダクト破損。原状回復のための工事に合わせ作業完了(平成28年12月末)(ウイングまつばせ)
- 空調パネルより水漏れが発生した。数日中に配管部品を取り換えた(美里町文化交流センター「ひびき」)
- チラー3号機の熱交換器の損傷及び冷媒ガス漏れは、平成29年3月20日に復旧。冷温水配管の損傷(屋上配管及び館内配管)は、平成29年6月21日に復旧。チラー1号機及び2号機を稼働させて、空調設備が一部復旧。空調ドレン配管の損傷、コンパクト空調機の破損は平成29年3月20日に復旧し、すべての復旧作業が完了した(くまもと森都心プラザ)
- 吹出口、吸込口、給排気口破損(嘉島町民会館)
- ファンのシャフト破損、ダクトの落下、損傷等(グランメッセ熊本)

### ●消防設備は損傷を受けたか？

はい 6館

いいえ 29館

#### ●損傷の箇所、復旧対応とその時期は？

具体的に→

- 自家発電機切換スイッチが故障し、平成28年6月17日に点検、9月23日に復旧した(玉名市民会館)
- 直流電源装置が飛び出し破損、使用不能。自家用発電機のラジエータータンクが破損し、漏水のため使用不能。消火水槽内に亀裂が発生し漏水発生(益城町文化会館)
- 損傷の箇所:消火ポンプ流量試験用配管、消火器(2本) 復旧対応:修理、取替 復旧対応の時期:平成28年9月(熊本市健軍文化ホール)
- 損傷(軽微)箇所は、平成30年度に復旧予定(火の君文化センター)
- 天井裏のスプリンクラー配管の損傷及び水漏れは、平成28年5月6日に破損箇所の修復を完了。その後、何度かの手直しがあり、平成29年3月に復旧作業が完了。水漏れによる火災感知器の損傷は平成28年5月に不具合箇所を切り離して、一部復旧。平成29年3月にすべての復旧作業が完了。水漏れによる誘導灯の損傷は、平成29年3月にすべての復旧作業が完了(くまもと森都心プラザ)
- スプリンクラー等の配管の損傷、漏水等(グランメッセ熊本)

### ●その他設備や建築は損傷を受けたか？

はい 21館

いいえ 14館

#### ●損傷の箇所、復旧対応とその時期は？

具体的に→

- 受水槽の傾斜、避雷針の破断落下、床の亀裂(熊本市市民会館)
- 地震が原因かどうかは不明だが、平成28年5月末に雨水管バイパス修繕工事(八代市厚生会館)
- 舞台すのこ部梁に多数のクラック→柱に炭素繊維を巻き付け平成28年11月復旧(宇土市民会館)
- 大道具搬入口床に小さなヒビ、軽微なため復旧予定なし。大雨時に地下から湧水した。水をポンプで排出済み(水俣市文化会館)
- 舞台壁モルタル材の落下、ヒビ割れは、平成28年5月26日から6月20日までに復旧完了(玉名市民会館)
- 壁等のクラック、照明カバー脱落(熊本県立劇場)
- ロビーの吊天井崩落の影響で2階客席へ上る階段の手すり損傷。また、テラスに面している大判ガラスが2枚破砕。雨天時には雨漏りが数箇所発生。建物外では、エントランスに5cm~50cmの段差が発生。駐車場に大規模な亀裂や陥没が発生(益城町文化会館)
- 外壁タイルの剥がれ、ひび割れ、敷地内道路の隆起。修繕については、平成30年度以降の予定(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- (損傷箇所)壁タイルなどが剥がれ落ちている箇所有り (復旧時期)平成29年度中を予定(御船町カールチャーセンター)
- 外溝陥没、今後対応予定(熊本市植木文化センター)
- ホールの移動式イスが揺れにより接合部が破損。移動イスが材料手配などが困難なことから早急な修復が出来なかったため、とりあえず移動イスを収納させ、平土間(フラット)での利用条件として平成28年7月8日から通常利用を再開させた。平成29年3月上旬から中旬にかけ復旧工事を行った(熊本市国際交流会館)
- 損傷の箇所:受水槽、アプローチ(インターロッキングブロック)、雨水樹 復旧対応:修理、取替 復旧対応の時期:平成28年4月から11月(復旧工事期間中)(熊本市健軍文化ホール)
- 舞台すのこ部梁に多数のクラック→柱に炭素繊維を巻き付け平成28年11月復旧(宇土市民会館)

# 1. 施設の物理的被害状況について

- 外壁タイル、館内トイレのタイルひび割れ、浮き、欠損、剥離、館内壁ボードクラック、4階多目的ホール移動観覧席収納部分鉄骨ひずみ、ひび、天井裏鉄骨水平ブレースひずみ、天井壁脱落、鉄骨梁受け柱頭破損(躯体)。復旧時期は未定(熊本市子ども文化会館)
- ホールホワイエ入口上部のガラスにヒビ。建物周辺の地盤沈下(平成29年3月末復旧)(ウイングまつばせ)
- 壁に大小のひびが数箇所入った。専門業者に点検を依頼した(上天草市松島総合センター)
- 空調設備の水漏れによりホワイエが水浸しになり、フロア表面が剥離したため塗り替えた。工事に1か月ほどかかった。その他玄関前が地盤沈下したためアスファルトで調整した(美里町文化交流センター「ひびき」)
- 移動観覧席の損傷(平成29年3月に復旧)、外壁の損傷(平成29年3月に復旧)(菊陽町図書館ホール)
- ホール天井裏の吊ボルトの損傷(平成29年3月20日にすべての復旧作業が完了)。エスカレーターのアプローチステップ板の変形(平成28年4月21日に変形を修正して復旧。平成28年12月から平成29年3月まで復旧作業に伴い使用停止)。各所の壁及び天井板の損傷、各所のドアの変形、木質床の変形(平成29年3月にすべての復旧作業が完了)(くまもと森都心プラザ)
- 公民館棟床面隆起、クラック多数発生、防災垂れ壁の破損等(嘉島町民会館)
- 天井材の落下、ガラスの崩落。床面、壁面の亀裂。駐車場路面のゆがみ。地盤の沈下。鉄骨部モルタル・ボルトの破損。甚大な被害多数(グランメッセ熊本)

## ●ライフライン(電気・水道・ガス等)は損傷を受けたか?

はい 12館

いいえ 23館

### ●何日程度で復旧したか?

- 電気→益城町文化会館【6日】・大津町生涯学習センター【1日】・熊本市健軍文化ホール【半日】・合志市文化会館【3日】
- 水道→益城町文化会館【50日】・大津町生涯学習センター【1日】・合志市文化会館【5日】・ウイングまつばせ【4日】・くまもと森都心プラザ【9日】・グランメッセ熊本【17日】
- ガス→熊本県立劇場【14日】・熊本市男女共同参画センターはあもにい【30日】・大津町生涯学習センター【1日】・熊本市子ども文化会館【13日】・くまもと森都心プラザ【10日】

### ●損傷の箇所、復旧対応とその時期は?

具体的に→

- 高架水槽破損により井戸水が使用できず館内のトイレ、空調設備が使用不能となった(熊本県立劇場)
- 上下水ともに地中で配管が数箇所断裂されていた。また、避難所となっていなかったため、上下水の復旧が後回しにされた(益城町文化会館)
- 電気、水道は一時的に停止。ガスは都市ガスのため、点検完了迄停止(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 断水はしていないが、受水槽が基礎ごと傾いた(復旧工事中)(熊本市健軍文化ホール)
- 空調運転に必要なガスの復旧が遅く営業再開のめどが立たず、地震直後の臨時閉館が長引いた(平成28年4月15日から4月27日)(熊本市子ども文化会館)
- 施設全体が使用不能であったため、配管等の損傷に気づかず、復旧が遅れた(火の君文化センター)
- 地盤沈下による漏水のため漏水箇所の断定に時間がかかった。また、図面などの情報を整理しておくことが重要(ウイングまつばせ)
- 電気は、瞬停程度であり、殆ど支障はなかった。上水道は、平成28年4月19日から断続的に断水し4月22日復旧。ガスは、本震による緊急遮断弁が作動し供給停止となり平成28年4月26日供給再開(くまもと森都心プラザ)
- 外構の沈降により、下水管が破損し、トイレ利用に支障が出た(嘉島町民会館)
- 施設利用ができなくなり、空調やレストラン用のガス供給が不要となったためガスの契約自体を一時解約。平成29年3月の2階会議室貸出に合わせて復旧(グランメッセ熊本)

## ●修繕工事費用の概算はどれくらいか?

特になし 11館	100万円未満 3館	100万~1,000万円未満 4館	1,000万~1億円未満 6館	1億~5億円未満 3館	5億円以上 6館	無回答 2館
----------	------------	-------------------	-----------------	-------------	----------	--------

### ●1,000万~1億円未満

具体的に→

- メインホール反響板・吊物ガイドレール改修工事1,600万円(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 建物復旧5,400万円、外構復旧1,000万円(嘉島町民会館)

### ●1億~5億円未満

具体的に→

- 建築7,100万円、電気設備5,700万円、機械設備1億4,700万円、舞台機構1,800万円(熊本市健軍文化ホール)
- 建築、外壁、内壁のひび割れ復旧、エアコンの空調の配管被害、舞台の装置3億9,500万円(くまもと森都心プラザ)

### ●5億円以上

具体的に→

- 被害状況調査経費1,091万円、復旧工事設計業務委託2,970万円、工事監理業務委託・復旧工事5億5,620万円(熊本市市民会館)
- 県費約8億円(熊本県立劇場)
- 最終的な調査が終了していないため、金額は不明(益城町文化会館)
- 総合センター(複合施設)として復旧工事中(合志市文化会館)
- 概算で約7億円(現在設計委託中により安くなる可能性あり)(火の君文化センター)
- 県費18億円(グランメッセ熊本)

## ●被災以前の耐震改修は?

改修工事済み 8館	改修工事中 4館	改修計画検討中 1館	改修予定なし 14館	無回答 8館
-----------	----------	------------	------------	--------

具体的に→

- 平成18年度に改修工事済(熊本市市民会館)
- 平成20年に旧耐震基準の下改修工事済み(宇土市民会館)
- 平成27年度に吊り天井の設計を行い、平成28年6月から工事実施の予定であった(水俣市文化会館)
- 地震前の耐震審査において問題なし(天草市牛深総合センター)
- 新しいホールの建設計画があったため(玉名市民会館)
- 舞台機構の一部において改修済み(熊本県立劇場)
- 当ホールは平成7年に建築された新耐震基準の建物(熊本市健軍文化ホール)
- 耐震改修対象外(熊本市子ども文化会館)  
(被災後の対応)
- 躯体に損傷がないので耐震改修は行わないが、客席天井が崩落したため、今回の改修工事で特定天井から変更する(火の君文化センター)
- もともと建設時に耐震構造になっていたと思われるが、今回の震災被害を受けて天井素材が大幅に軽量化され、落ちてきてもけがしないような素材に変更。展示ホールの四隅に火打梁を設置。ガレリアにおける特定天井の耐震構造強化(グランメッセ熊本)

# 2. 被災後の施設の運営について

## ●地震により閉館したか?

はい 26館

いいえ 9館

### ●閉館の期間は?

- (a) 1か月未満【数】 6 / 水俣市文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・上天草市松島総合センター「アロマ」・ながす未来館・八千代座・やつしろハーモニーホール
- (b) 1か月～3か月未満【数】 5 / 八代市厚生会館・玉名市民会館・熊本市植木文化センター・熊本市国際交流会館・熊本市子ども文化会館
- (c) 3か月～6か月未満【数】 5 / 熊本県立劇場・益城町文化会館・大津町生涯学習センター・ウイングまつばせ・菊陽町図書館ホール
- (d) 6か月～1年未満【数】 3 / 宇土市民会館・菊池市市民会館・くまもと森都心プラザ
- (e) 1年以上【数】 7 / 熊本市市民会館・御船町カルチャーセンター・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・火の君文化センター・嘉島町民会館・グランメッセ熊本

#### 具体的に→

- 大ホール:平成28年4月15日から平成30年1月9日まで閉館、大会議室:平成28年4月15日から8月31日まで閉館、再開後、平成29年4月1日から平成30年1月9日まで閉館、中小会議室:平成28年4月15日から7月1日まで閉館、再開後、平成29年4月1日から平成30年1月9日まで閉館(熊本市市民会館)
- 約4か月の応急復旧の後、開館しながら13か月の本格復旧工事を実施(熊本県立劇場)
- 大きな余震が頻発していたため、建物の安全確認、点検を含め1週間程臨時閉館(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 館内併設の町立図書館のみ平成28年7月より開館。会議室等の貸し出しが再開されたのは平成29年5月からだが、現在も一部の部屋は貸出不可。(震災対応業務のため)(御船町カルチャーセンター)
- 当館は避難所運営を経て会議室やホールを段階的に再開していったためそれぞれの閉館期間を示す。①避難所運営(平成28年4月15日から4月30日まで)及び会議室の閉館期間(全館閉館)(平成28年4月15日から5月5日まで)②ホール復旧工事のためホールの閉鎖期間(平成28年4月15日から7月7日まで)(熊本市国際交流会館)
- コミュニティ棟:平成28年4月15日から5月19日まで臨時閉館。平成29年4月1日から12月28日まで復旧工事閉館。ホール棟:平成28年4月15日から平成29年3月31日まで臨時閉館。平成29年4月1日から12月28日まで復旧工事閉館(熊本市健軍文化ホール)
- 地震後から現在も閉館中(合志市文化会館)
- 平成29年度末もしくは平成30年度より工事開始。約1年の工事期間予定(火の君文化センター)
- 平成28年12月に下水管復旧工事を施工し、平成29年2月から7月ホール棟のみ一般開放。公民館棟にある会議室等は閉館中。図書室は平成28年6月から解放中。平成29年8月から平成30年1月末まで本復旧工事(嘉島町民会館)
- プラザホールは平成28年4月15日から平成29年3月31日まで約1年間閉館(くまもと森都心プラザ)
- 屋外展示場が平成28年10月中旬、2階会議室関係が平成29年3月下旬、平成29年7月に1階展示ホールの営業を再開。順次復旧が終わったところから営業再開し、最終的に展示ホールの営業を再開したことで全館営業再開となった(グランメッセ熊本)

以下、指定管理者制度導入施設のみお答えください。

### ●閉館した指定管理者制度導入施設においては、指定管理料は削減されたか?

- (a) はい【数】 4 / 熊本県立劇場・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・くまもと森都心プラザ
- (b) いいえ【数】 10 / 宇土市民会館・水俣市文化会館・玉名市民会館・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・熊本市国際交流会館・菊池市市民会館・上天草市松島総合センター「アロマ」・八千代座・グランメッセ熊本

### ●指定管理料が削減された場合、その項目とそれぞれの金額は?

- (a) 人件費【数】 0 /

- (b) 委託費【数】 3 / 熊本県立劇場【清掃128万円、警備80万円】・熊本市健軍文化ホール【清掃30万円、空調設備点検72万円、舞台設備点検37万円、舞台音響・映像設備点検72万円、舞台照明設備点検86万円、企画事業費60万円】・熊本市子ども文化会館【内容不明】
- (c) 水光熱費【数】 2 / 熊本県立劇場【687万円】・熊本市健軍文化ホール【285万円】

### ●上記以外で削減された項目・金額があれば

#### 具体的に→

- 閉館に伴う利用料収入減655万円、閉館に伴う支出減613万円  
収支42万円(平成28年度の指定管理料に上乗せされた)(熊本市健軍文化ホール)
- 当館は複合ビル(2階観光・郷土情報センター、3・4階図書館、5階プラザホール、6階会議室の施設)で水道光熱費はホールだけの金額が算出できない(くまもと森都心プラザ)

### ●閉館中に職員の雇用状況に変化はあったか?

- (a) はい【数】 6 / 熊本市市民会館・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・上天草市松島総合センター「アロマ」・くまもと森都心プラザ・グランメッセ熊本
- (b) いいえ【数】 13 / 宇土市民会館・水俣市文化会館・玉名市民会館・熊本県立劇場・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・御船町カルチャーセンター・熊本市子ども文化会館・菊池市市民会館・ウイングまつばせ・八千代座・菊陽町図書館ホール

### ●「はい」の場合、職員の雇用はどうしたか?

#### 対象者とその期間=

#### 具体的に→

- 嘱託職員の削減(8人→1人)(熊本市市民会館)
- 対象者:舞台スタッフ(専門員1名、嘱託職員1名)、設備管理スタッフ(技術嘱託職員3名)、受付スタッフ(臨時職員3名) 退職 期間:平成29年4月から11月(予定)(熊本市健軍文化ホール)
- 閉館のため、管理人(非常勤職員)が他の開館施設に勤務(合志市文化会館)
- 4日ほど市民の避難所になったことで職員を交代制で2名ほど宿直として配置した(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 1名が本社勤務へ異動(くまもと森都心プラザ)
- 解雇・退職等はないが、業務及び収入の減少に伴い、全社員に対し、週5日勤務のうち休業2日とする週あたり3日勤務体制にして社員の勤務日数を減らすことで給与手当の削減を行った。また、社員の一部を関連会社へ出向させたり、受託事業への出向を行った(グランメッセ熊本)

### ●職員の他の部署への配置転換はあったか?

- (a) あった【数】 3 / 熊本市市民会館・御船町カルチャーセンター・グランメッセ熊本

#### 対象人員、期間は?

#### 具体的に→

- 舞台職員の異動→3人退職(補充なし)、8人転出(熊本市市民会館)
- 人事異動により、1名他部署へ異動。(他部署より1名補充されたため、人数に変更はなし)期間の定めはなし(御船町カルチャーセンター)
- 社員のうち1名を8か月間、1名を6か月間関連会社へ出向させた。全社員を対象に、2か月強の期間、交代勤務で毎日1名及び2名を受託業務実施先へ出向させた(グランメッセ熊本)

- (b) なかった【数】 5 / 大津町生涯学習センター・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・菊池市市民会館・菊陽町図書館ホール

### ●閉館中の委託先スタッフの雇用状況に変化はあったか?

- (a) はい【数】 4 / 益城町文化会館・御船町カルチャーセンター・熊本市健軍文化ホール・グランメッセ熊本

### ●その場合委託先スタッフの雇用はどうしたか?

- (a) 休職【数】 0 /
- (b) 退職【数】 1 / 熊本市健軍文化ホール
- (c) その他【数】 3 / 益城町文化会館・御船町カルチャーセンター・グランメッセ熊本

## 2. 被災後の施設の運営について

### 具体的に→

- 清掃を外部委託していたが、閉館中は協議のうえ、委託を止めていた(益城町文化会館)
- 契約内容の変更(御船町カルチャーセンター)
- 平成29年4月からの復旧工事閉館に伴い、舞台スタッフ2名、設備管理スタッフ3名、受付スタッフ3名退職(いずれも直接雇用の職員)(熊本市健軍文化ホール)
- 委託先に対しては必要最小限の勤務体制を依頼したため、一部スタッフが他施設に配置換えとなる等の影響があった(グランメッセ熊本)

(d)変化なし【数】13 / 熊本市市民会館・宇土市民会館・水俣市文化会館・玉名市民会館・熊本県立劇場・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・合志市文化会館・熊本市子ども文化会館・ウイングまつばせ・八千代座・菊陽町図書館ホール・くまもと森都心プラザ

### ●催事の中止や延期はあったか？

はい 31館

いいえ  
4館

#### ●その件数はどの位か？

- (a)50件未満【数】17 / 宇土市民会館・天草市牛深総合センター(10件程度)・玉名市民会館・人吉市カルチャーパレス・荒尾総合文化センター・天草市民センター・熊本市植木文化センター・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・熊本市子ども文化会館・あさぎり町須恵文化ホール・上天草市松島総合センター・ながす未来館・八千代座・美里町文化交流センター・菊陽町図書館ホール・清和文楽館
- (b)100件未満【数】4 / 益城町文化会館・大津町生涯学習センター・菊池市文化会館・やつしろハーモニーホール
- (c)150件未満【数】4 / 熊本県立劇場・御船町カルチャーセンター・火の君文化センター・嘉島町民会館
- (d)150件以上【数】6 / 熊本市市民会館・八代市厚生会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・熊本市国際交流会館・くまもと森都心プラザ・グランメッセ熊本

### 具体的に→

- 地震発生時点で予約されていた1,243件の中止(熊本市市民会館)
- 大ホール、会議室の催事(玉名市民会館)
- 使用の中止届(約200件)、使用の変更届(117件)(熊本市国際交流会館)
- 映画まつり4件、コンサート3件、スポーツ教室6件(16回)、手話教室1件(10回)、助成事業1件(熊本市健軍文化ホール)
- 101件還付(火の君文化センター)
- 貸館を予定していた2件 清和文楽の予約公演45件程キャンセルとなった(清和文楽館)
- 194件 平成28年4月から平成29年3月までホール利用できなかった(くまもと森都心プラザ)
- ホール関係の催事及び会議室等の催事121件全て予約取消 2,949,910円還付済(嘉島町民会館)

#### ●中止、延期の理由は＝

### 具体的に→

- すべての予約をキャンセルとしたため(熊本市市民会館)
- 地震災害が膨大だったため(天草市牛深総合センター)
- 会場が使用できないため。出演者が被災しているため等(熊本県立劇場)
- 八代市役所本庁舎閉鎖に伴い、その一部機能が、施設内に移転したため。また地震により建物強度の損傷調査に期間を要したため(八代市厚生会館)
- 館内の安全の確認ができず利用者に取消を依頼。参加されるイベントが中止になったため(荒尾総合文化センター)
- いずれも主催者の判断による(天草市牛深総合センター)

- 主催者、利用者が被災したため。ホールが被害を受け利用不可になった。集約避難所になったため、貸室運営ができなくなった。震災直後は余震が多かったため、安全点検、被災度判定が出るまで臨時閉館した(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 被災により、建物の貸館が不可能になったため(御船町カルチャーセンター)
- 会館が使用できない、また、地震直後数か月は熊本での催事が中止になったなど。延期の理由は地震後間もないこともあり人が集まらないなどで開催時期を延期(変更)した(熊本市国際交流会館)
- 臨時閉館及び復旧工事閉館によるもの(熊本市健軍文化ホール)
- 施設が避難所となっていたため(合志市文化会館)
- 臨時閉館および多目的ホールの閉鎖のため(熊本市子ども文化会館)
- 被災地等への配慮(あさぎり町須恵文化ホール)
- ホール客席天井崩落及び設備破損により使用不能(火の君文化センター)
- 避難所になったことで閉館にしたため(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- お客様の安全確保のため(ながす未来館)
- 観客の会場までの移動の困難と余震の危険性(八千代座)
- 急遽避難所になったため会館が使えないため(やつしろハーモニーホール)
- 地震でホールの天井が損傷したため(菊陽町図書館ホール)
- 余震が続く中、安全面を考慮しツアーや、旅行事体の中止によるもの(清和文楽館)
- 地震被害でホールが利用できなかった(くまもと森都心プラザ)
- 震災被害により施設の使用ができなくなったため(グランメッセ熊本)

#### ●利用者への連絡はどうしたのか＝

### 具体的に→

- ダイレクトメールや市ホームページなど(熊本市市民会館)
- 電話連絡(八代市厚生会館)
- 電話にて日々変わる会館の改修完了時期の連絡をおこなった(宇土市民会館)
- 地区の防災無線で周知・玄関前に表示(天草市牛深総合センター)
- 全ての主催者に連絡した(玉名市民会館)
- 閉館期間内の利用団体に直接電話連絡、開館以降の利用団体には現状報告も含め文書を郵送(熊本県立劇場)
- 平成28年5月上旬まで館内の点検ができなかったため、利用者に利用取消または日程変更の連絡を行った。その後については主催者の判断(荒尾総合文化センター)
- 震災当初、停電で電話が使用不能だったため、職員の携帯から利用者へ現状を連絡していた。また、受信についても職員の携帯へ転送し、対応した(益城町文化会館)
- 1件ごとに電話にて連絡をし確認を取った(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 電話及び書面(御船町カルチャーセンター)
- 電話連絡を中心に、ホームページでも利用者向けに案内した(熊本市国際交流会館)
- ホームページ、メールマガジン、市政だより、ダイレクトメール、電話、チラシ配布、施設掲示等で周知(熊本市健軍文化ホール)
- 予約を受けていた団体、個人へは電話で連絡をした(熊本市子ども文化会館)
- 町主催事業については、告知放送を利用(あさぎり町須恵文化ホール)
- 電話連絡(火の君文化センター)
- 電話にて連絡(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 後日連絡(ホールの催物ではなかったため後日振りかえの連絡のみ)(ながす未来館)
- 主催者からの周知が届かず来館された観客への説明とお詫び(八千代座)
- 電話にて連絡(菊陽町図書館ホール)
- ホームページ、SNS等で催事の中止を周知した(清和文楽館)
- 全利用者に電話、中止に納得していただけない利用者がいらっしやっただけで訪問し謝罪(くまもと森都心プラザ)
- 利用者先への訪問、電話、書面等により、施設が長期にわたり使用ができなくなったことを報告しご理解を頂いた。使用できない期間については、熊本県による復旧計画策定のプロセスがあり、営業再開日の確定にかなり時間を要したため、確実に使えない期限を踏まえて段階的に利用者への案内を行った(グランメッセ熊本)

## 2. 被災後の施設の運営について

### ●施設の都合による使用料還付の対象とした期間は、震災後どれ位だったか？

1か月未満 7館	1か月～3か月未満 5館	3か月～6か月未満 6館	6か月～1年未満 7館	1年以上 3館	無回答 4館
-------------	-----------------	-----------------	----------------	------------	-----------

- (a) 1か月未満【数】 7 / 宇土市民会館・荒尾総合文化センター・あさぎり町須恵文化ホール(使用料還付は発生なし)・上天草市松島総合センター「アロマ」・八千代座(特になし)・やつしろハーモニーホール・清和音楽館
- (b) 1か月～3か月未満【数】 5 / 八代市厚生会館・玉名市民会館・熊本市植木文化センター・火の君文化センター・ウイングまつばせ
- (c) 3か月～6か月未満【数】 6 / 熊本県立劇場・益城町文化会館・御船町カルチャーセンター・合志市文化会館・菊池市市民会館・菊陽町図書館ホール
- (d) 6か月～1年未満【数】 7 / 人吉市カルチャーパレス・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・熊本市国際交流会館・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・嘉島町民会館
  - 会議室は概ね平成28年5月までの利用予定者を全額還付対象とし、ホールは移動イスが使用できないことを理由にした場合は平成29年3月末までを対象とした。(熊本市国際交流会館)
- (e) 1年以上【数】 3 / 熊本市市民会館・くまもと森都心プラザ・グランメッセ熊本
  - 地震発生時点での予約件数全て(熊本市市民会館)
  - 市から利用料金の補てんがあり、入金後の平成29年4月から還付スタート(くまもと森都心プラザ)
  - 営業再開までの全ての利用予約について還付を行った(グランメッセ熊本)

### ●余震等により開館発表後に開館日の変更があったか？

はい 2館	いいえ 32館	無回答 1館
-------	---------	--------

#### ●どういう事情から変更を余儀なくされたのか？

具体的に→

- 当初目立った被害の復旧は平成28年5月中に完了しており、7月下旬を開館としていたが、7月中旬に実施した被災区分調査の結果、舞台すのこ梁の大規模改修が必要と判定され、開館時期が11月に延期となった(宇土市民会館)
- 余震のため被害が拡大したことによる(熊本県立劇場)

## 3. 被災者受入等の対応について

### ●被災者の受け入れを行ったか？

はい 18館	いいえ 17館
--------	---------

#### ●震災前に自治体の避難所に指定されていたか？

- (a) はい【数】 8 / 玉名市民会館・荒尾総合文化センター・御船町カルチャーセンター・熊本市植木文化センター・合志市文化会館・火の君文化センター・上天草市松島総合センター「アロマ」・くまもと森都心プラザ
- (b) いいえ【数】 8 / 益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・ウイングまつばせ・やつしろハーモニーホール・グランメッセ熊本
- (c) 無回答【数】 2

#### →自主的に受け入れを行ったか、自治体からの指示・要請で受け入れを行ったか？

- 前震後すぐに近隣住民の方が施設の駐車場に避難して来られたため、最初は自主的に避難者を受け入れた。その後、益城町より施設所有者の熊本県に対して正式に施設を避難所として使用したいとの要請があり避難所に位置づけられた(グランメッセ熊本)
- (a) 自主的に受け入れた【数】 4 / 益城町文化会館・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・グランメッセ熊本
- (b) 自治体からの指示・要請【数】 7 / 熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・熊本市国際交流会館・熊本市子ども文化会館・ウイングまつばせ・嘉島町民会館・グランメッセ熊本
  - 大規模災害における外国人避難所対応施設と規定されていた(熊本市国際交流会館)
- (c) 無回答【数】 7

#### ●被災者を受け入れた期間はどれくらいか？

- (a) 1週間未満【数】 3 / 益城町文化会館・上天草市松島総合センター「アロマ」・嘉島町民会館
- (b) 1か月未満【数】 6 / 玉名市民会館・荒尾総合文化センター・熊本市国際交流会館・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・やつしろハーモニーホール
- (c) 3か月未満【数】 4 / 熊本市男女共同参画センターはあもにい・熊本市子ども文化会館・ウイングまつばせ・くまもと森都心プラザ
  - 本震直後から自主的受入(4日間)、周辺避難所の閉鎖に伴い自治体から避難所開設の要請を受け避難所開設(82日間)(熊本市子ども文化会館)
  - 5階ホールは利用できないため2階観光郷土情報センターで避難者受入、対応はすべて市の職員で運営されたため、指定管理者職員は対応していない。避難所開設後、4月15日の本震でスプリンクラーが破裂し水びたしになり避難所閉鎖となった。その後2階観光・郷土情報センターに避難所開設。5月9日から6月24日まで地震で空調が使えず避難所閉鎖(くまもと森都心プラザ)
- (d) 6か月未満【数】 4 / 大津町生涯学習センター・熊本市植木文化センター・火の君文化センター・グランメッセ熊本
  - 4月14日から8月15日(火の君文化センター)
- (e) 6か月以上【数】 1 / 御船町カルチャーセンター

#### ●避難所となって、問題となったことがあるか？

具体的に→

- 病気の避難者、ペット同伴(入館不可)、個室設営(荒尾総合文化センター)
- 避難所対応期間は、ホール・会議室等一般貸し出しを中止した(大津町生涯学習センター)
- 部屋割りに対する苦情があった(熊本市健軍文化ホール)
- 指定避難所ではなく物資の備蓄がないため、自主的受入期間はそれを条件に受け入れた。その後4月末に営業再開し1か月ほどたった頃、自治体からの要請を受け避難所開設のため再度臨時閉館となった。子どもの遊び場がなく、4月末閉館の際は大変多くの方に喜ばれたが、被災者(避難者)対策が最優先の時期であった反面、再度の臨時閉館で、行き場をなくした子どもや、子育て中の母親など多くの方を落胆させることとなった。そのため、避難所開設前に避難所と、会館機能の継続(避難者と利用者で施設を共有)の可能性について自治体と協議し、避難所開設当初は困難だったものの、途中から一般供用エリアと避難所エリアをわけ、一般供用しつつ避難所も運営した。避難者対応としては、声かけ

### 3. 被災者受入等の対応について

や職員との交流を通し日常を取り戻す機会を作りつつ、様々な事情を抱えた方がいる中では友好的態度の方ばかりではなかったため、距離感をつかむのに苦慮した(熊本市子ども文化会館)

- 物資の確保、職員の確保(火の君文化センター)
- 市と指定管理者とのリスク分担などの災害時における役割分担が整っていなかった(ウイングまつばせ)
- 限られた職員で宿直をしたため、職員の業務が多忙になった。本施設はスポーツ施設も複合しているため、多くの利用者を断らざるをえなかった(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 急遽避難所になったため予約のお断り等(やつしろハーモニーホール)
- 本震で建物が立入禁止に。駐車場のみで車中泊受入れ(グランメッセ熊本)

#### ●自治体その他関係団体からの応援体制を受けたか?

(a)はい【数】14 / 玉名市民会館・荒尾総合文化センター・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・御船町カルチャーセンター・熊本市植木文化センター・熊本市国際交流会館・熊本市子ども文化会館・火の君文化センター・上天草市松島総合センター「アロマ」・やつしろハーモニーホール・くまもと森都心プラザ・嘉島町民会館・グランメッセ熊本

(b)いいえ【数】3 / 益城町文化会館・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館

→その内容と受入れ期間はどれくらいか?

具体的に→

- 市職員2~3名が22時から翌日8時30分まで在館。1週間。(荒尾総合文化センター)
- 避難所運営は行政職員のため、当館職員は補助業務。平成28年5月8日から8月14日まで(集約避難所)(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 玉名市の防災対策本部と協力し、被災者の対応を行った。会議室1週間、駐車場18日間(玉名市民会館)
- 避難所清掃、炊き出しボランティア及び自衛隊による給水・炊き出し等。約10日間(大津町生涯学習センター)
- 避難者受け入れ時の受付(名簿管理)、配給作業 平成28年4月23日から6月中旬まで(御船町カルチャーセンター)
- 人的支援(1か月弱)(熊本市植木文化センター)
- 夜間(22時から翌朝7時)の人員体制要員として市職員1名が派遣された。また、外国人支援団体より避難所運営期間中の炊き出し協力があった。4月30日まで避難所を運営していた(熊本市国際交流会館)
- 自治体要請による避難所開設後は、避難所運営スタッフとして昼夜各4名ずつ派遣された。自治体要請による避難所開設期間82日間(熊本市子ども文化会館)
- 他政令指定都市職員、他課及び市民病院看護師等、政令指定都市職員約1か月(5月19日まで)他課等は避難所閉鎖まで(火の君文化センター)
- 自治体より交代制で避難者対応者を配置。避難所開設の期間中(1週間程度)(上天草市松島総合センター)
- 市役所職員の駐在(やつしろハーモニーホール)
- 市の職員が対応し、指定管理者としては動いていない(くまもと森都心プラザ)
- 支援物資受入れ等の応援(平成28年4月から5月)、建築部門専門職員応援(平成28年10月から平成29年2月)(嘉島町民会館)
- 国や熊本県等の応援を受けて、益城町が中心となり避難所運営が行われた(5か月)(グランメッセ熊本)

#### ●避難所としてのマニュアルや体制を整備していたか?

(a)はい【数】7 / 玉名市民会館・大津町生涯学習センター・御船町カルチャーセンター(マニュアルは整備されていたが、体制は確立されていなかった)・熊本市国際交流会館・合志市文化会館・熊本市子ども文化会館・火の君文化センター

(b)いいえ【数】11 / 荒尾総合文化センター・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・熊本市植木文化センター・熊本市健軍文化ホール・ウイングまつばせ・上天草市松島総合センター・やつしろハーモニーホール・くまもと森都心プラザ・嘉島町民会館・グランメッセ熊本

#### 受け入れを行わなかった理由は?

(a)受け入れる必要(需要)がなかった【数】12 / 宇土市民会館・水俣市文化会館・天草市牛深総合センター・人吉市カルチャーパレス・天草市民センター・つなぎ文化センター・ながす未来館・八千代座・美里町文化交流センター・菊陽町図書館ホール・苓北町民ホール・清和文楽館

(b)需要はあったが館側の対応がとれなかった【数】1 / 熊本県立劇場

(c)その他【数】2 / 熊本市市民会館・八代市厚生会館

具体的に→

- 施設の安全性に問題があったから(熊本市市民会館)
- 市役所が被災し、集会室をその一部機能の執務室として使用していたため(八代市厚生会館)
- 館内ロビー等の照明設備の落下、外壁の落下等の危険性があったことに加え、トイレや空調設備が使用できなかったため(熊本県立劇場)

#### ●避難者受入れ用の物品として、あらかじめ備蓄を行っていたか?



(a)はい【数】1 / 天草市民センター

(b)いいえ【数】32 / 熊本市市民会館・八代市厚生会館・宇土市民会館・水俣市文化会館・玉名市民会館・熊本県立劇場・人吉市カルチャーパレス・荒尾総合文化センター・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・つなぎ文化センター・御船町カルチャーセンター・熊本市植木文化センター・熊本市国際交流会館・熊本市健軍文化ホール・合志市文化会館・熊本市子ども文化会館・菊池市市民会館・あさぎり町須恵文化ホール・火の君文化センター・ウイングまつばせ・上天草市松島総合センター「アロマ」・ながす未来館・八千代座・美里町文化交流センター「ひびき」・菊陽町図書館ホール・苓北町民ホール・清和文楽館・くまもと森都心プラザ・嘉島町民会館・グランメッセ熊本

品目と数量は? =

具体的に→

- 災害用簡易ブランケット50枚(天草市民センター)

震災時の備蓄品使用において数量不足や品目に問題はあったか?

具体的に→

- 毛布等の寝具(やつしろハーモニーホール)

#### ●震災後、被災者支援のための活動に取り組んだか?



#### ●避難者の受け入れ

具体的な活動は→

- 施設内の多くは、被災した市役所機能の一部が執務室として使っていた上、建物強度損傷のおそれがあったため、駐車場にのみ受け入れた(八代市厚生会館)
- 会議室、駐車場を避難所として開放した(玉名市民会館)
- 避難者の受け入れ。約1週間(荒尾総合文化センター)
- 4月14日発災直後に近隣住民十数名が当館へ避難されて来たので受け入れを行った。(翌日早朝には避難者全員帰宅)(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 避難所として対応(大津町生涯学習センター)
- 避難所として、施設の一部を開放(御船町カルチャーセンター)
- 24時間避難所開設(熊本市植木文化センター)
- 外国人の避難所施設として開設するも、自主的に避難してきた近隣の日本人被災者も受け入れた。4月16日は朝から多くの外国人旅行者が来館し、県外へ避難する方法の相談や、その目処が立つまで当館で避難していた(熊本市国際交流会館)

### 3. 被災者受入等の対応について

- 受入期間は平成28年4月16日から5月8日まで。延べ165名利用。24時間(常時)職員を配置(熊本市健軍文化ホール)
- 本震直後に周辺住民を自主的受入。自治体要請による避難所開設期間は、被災者の心に寄り添う活動(ぬり絵、折り紙、将棋対戦、毎朝のラジオ体操、七夕飾りなど)を行った(熊本市子ども文化会館)
- 城南地区(熊本市南区)の避難者の受け入れ(車中泊含む)(火の君文化センター)
- 職員の勤務を調整し、宿直を配置し、緊急時に備えた(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 避難者のため、館内及び駐車場の解放(やつしろハーモニーホール)
- 市職員対応(くまもと森都心プラザ)

#### ●ボランティアの受入調整

具体的な活動は→

- 被害調査のための他都市応援職員等の詰所(熊本市市民会館)
- 閉館中の際、益城町内の避難所に対する慰問ボランティアの総合受付窓口としての活動を益城町へ提案し、3か月ほどで約170件の相談を14か所ある避難所、老人ホーム、幼・保育園等にマッチング。主な慰問ボランティアとして、マッサージ、洗髪・散髪、運動・体操、傾聴ボランティア、演奏・パフォーマンス、ワークショップなど。著名人の避難所訪問へ帯同、演奏時の音響・照明の手伝い、地元夏祭りの出張手伝い等にも積極的に活動。避難所集約により、この活動は平成28年8月末で終了(益城町文化会館)
- ボランティア希望団体の受付窓口、日程調整など(御船町カルチャーセンター)
- 物資支給、避難者受入業務(熊本市植木文化センター)
- 政令都市市長会「横浜市」避難所運営支援派遣職員の待機所開設。受入期間は平成28年4月26日から5月18日まで。24時間(常時)職員を配置(熊本市健軍文化ホール)
- 政令市職員役割分担、食事等は日程調整を行った(火の君文化センター)
- 市職員対応(くまもと森都心プラザ)

#### ●被災者対象のアウトリーチ活動

具体的な活動は→

- 避難所への出張コンサートなど(熊本市市民会館)
- 技術スタッフのアウトリーチとして、本来当館で開催予定であった催しで、別会場(体育館等)での開催を余儀なくされた催しに関して、照明・音響・演出等でのサポートをおこなった(宇土市民会館)
- 老人施設に音楽家を派遣し、館外事業を実施した(玉名市民会館)
- アートキャラバンくまもと事業を立ちあげ、県内被災地へアーティストを派遣。平成29年3月末までに約140公演実施(熊本県立劇場)
- 避難者の要望を関係機関へ取次ぎ(熊本市植木文化センター)
- 当事業団が多文化共生社会の実現に取り組んでいることから、全国自治体国際化協会(クレア)に要請し全国の多文化共生マネージャーを派遣してもらい、各避難所にいる外国人などに聞き取り調査や多言語による情報発信活動を行うなど、避難所の巡回を行った(熊本市国際交流会館)
- 健軍文化ホール音楽アーティストによるアウトリーチや、職員派遣による舞台演出等、地域や関係団体と連携した復興支援活動及び地域貢献活動に取り組んだ。健軍地域の小・中学校でのアウトリーチ(4回)。地域創造文化祭等、市内各施設でのイベント(7回)。各避難所でのコンサート(4回)。商店街等での復興支援イベント(7回)(熊本市健軍文化ホール)
- 本震直後の臨時閉館中は、周辺避難所に向向き、子どもや高齢者などを対象に絵本の読み聞かせ、手遊び歌、クイズなどを行った(熊本市子ども文化会館)
- 市看護師等常駐及び保健師見回り等(火の君文化センター)
- 自主事業として平成29年6月11日に1階の広場で元気マルシェを開催した。飲食・物販等の販売のマルシェやコンサート、慶徳二郎ショーといったステージイベントを開催、避難されている方々に楽しんでいただいた(くまもと森都心プラザ)

#### ●寄付・義援金の募集

具体的な活動は→

- エンタメ支援金(平成28年度計:1億6,780万9,845円)(熊本市市民会館)
- 事業毎に募金箱を設置をおこなった。またチャリティ映画祭も開催した(宇土市民会館)
- 自主文化事業のチケット収入を寄付した(玉名市民会館)

- 国内外からの寄付金を「アートキャラバンくまもと」事業の活動に充てた。また、寄付者からの希望により、県内の小・中・高校および大学において被災した楽器等の修繕や音楽室の修復に充てた(熊本県立劇場)
- 募金箱の設置、協力要請(天草市民センター)
- ホームページで支援金を呼び掛け、集まった支援金を元に外国人被災者対象の各種相談会を実施(熊本市国際交流会館)
- 当初物資の受け入れのみ。寄付金等は市で実施(火の君文化センター)
- 受付に義援金箱を設置した(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 義援金箱の設置及び会社(イズミ)の寄付(やつしろハーモニーホール)
- 寄付・義援金箱を設置した(美里町文化交流センター「ひびき」)
- 平成28年6月11日 元気マルシェで熊本城災害復旧支援募金箱を設置1万1,772円を熊本市へ寄付。平成28年8月31日 文学座の俳優による無料演劇鑑賞会開催 義援金募金箱を設置4万3,107円が集まり熊本市へ寄付。平成28年10月21日 柳家さん喬 チャリティ落語会を開催復興義援金募金箱を設置し、4万4,200円が集まり熊本市へ寄付(くまもと森都心プラザ)

#### ●その他

具体的な活動は→

- 大阪ガスの復旧応援隊に駐車場約100台分を提供(熊本県立劇場)
- 各避難所をまわり、男女共同参画の視点から、環境改善、意見箱の設置&回収、避難所入所者の個別ヒアリング、支援物資の配布、自立支援のための防災講座や防災料理教室、足湯の開催等。同時に避難所での性暴力・DV防止の啓発ポスターを作成し掲示。そのほか、メンタルケアとして、支援者向けの自己メンテナンスシートの作成・配布、ストレスケア研修、親子のメンタルケア講座なども開催。当館で避難所開設中は、他館と連携し、多目的ホールで文化事業や1階エントランスでも慰問コンサート等の受け入れをおこなった(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 健軍商店街ピアクレス復興支援バザー協力(9回)。第43回健軍自衛隊通り桜まつり(熊本市健軍文化ホール)
- 市の児童館への職員派遣(熊本市子ども文化会館)
- 災害支援で来熊した方々の施設見学料を無料にした(八千代座)
- 復興支援コンサートと支援物資の一時保管(菊陽町図書館ホール)
- 支援物資の管理、配給(嘉島町民会館)
- 支援物資の配布、施設設備の使用に関する調整、行政団体間の連絡調整、救援機関や緊急車両・復旧工事車両等に対する駐車場受入、炊き出し団体の受入調整等を実施(グランメッセ熊本)

# 4. 危機管理システムについて

## ●震災前に危機管理マニュアルや体制を整備していたか?



### ●実際にマニュアルや体制は役に立ったか?

(a)はい【数】9 / 熊本市市民会館・八代市厚生会館・熊本県立劇場・玉名市民会館・熊本市国際交流会館・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・火の君文化センター・グランメッセ熊本

どんなところが有益だったか?

具体的に→

- 職員それぞれの役割分担などが規定されていた(熊本市市民会館・熊本県立劇場)
- 緊急対応の体制や措置について、明確だったため、適切な対応をとることが出来た(八代市厚生会館)
- 各機関への連絡や、職員がすべきことが明確だったので、問題無く対応できた(玉名市民会館)
- 外国人を中心に多言語による情報提供の在り方が概ね適切に対応が出来た(熊本市国際交流会館)
- 緊急連絡体制による職員の参集。立入禁止処置による二次被害の防止(熊本市健軍文化ホール)
- マニュアルが整備されていることで、対応について随時振り返るなど冷静になれた(熊本市子ども文化会館)
- 被災者受付用紙(火の君文化センター)
- 緊急連絡網(熊本県立劇場・グランメッセ熊本)

(b)いいえ【数】10 / 宇土市民会館・天草市民センター・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・熊本市植木文化センター・菊池市市民会館・火の君文化センター・やつしろハーモニーホール・くまもと森都心プラザ

どんなところが問題だったか?

具体的に→

- 消防訓練等において夜間の震災を想定した訓練はおこなったことがなく、夜間勤務者1名という状況での利用者避難誘導の方法なども、マニュアル化できておらず、想定不足であった(宇土市民会館)
- 実情にそぐわない事項が多かった(天草市民センター)
- マニュアル想定外の事案のため、自ら考え、連絡を取り合い、行動するしかなかった(益城町文化会館)
- 地震の大きさ、被害が想定以上だったため、状況に応じた、対応、判断が必要であった(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 火災避難に対する訓練は十分していたが、震度7という未曾有の大地震に対する備え(危機意識)が十分でなかったこと(大津町生涯学習センター)
- 被害状況が甚大だったため、対応に苦慮した(熊本市植木文化センター)
- 火災が中心だったので、地震に関しては予想してはしていたが充分ではなかった(菊池市市民会館)
- 市マニュアルの把握ができていなかった。マニュアルどおりには行かない。大災害を予期していないため。物資調達網、応援体制、各担当課との連絡など(火の君文化センター)
- 避難所になることを想定していなかった(やつしろハーモニーホール)
- 職員の安否確認は電話が繋がらず早急にできなかった。また前震時は急遽、緊急避難者の受入があったが、緊急だったため市の職員も来ないので備蓄もなく指定管理者としてただ休憩する場所を提供するだけだった(くまもと森都心プラザ)

いいえ

### ●マニュアルや体制の整備がないことで問題が生じたか?

(a)はい【数】3 / 御船町カルチャーセンター・上天草市松島総合センター「アロマ」・嘉島町民会館

どんな問題が生じたか?

具体的に→

- 職員の動きがスムーズではなかった(御船町カルチャーセンター)
- ①行政と施設側の役割分担が明確でなかった。②職員の勤務調整が厳しかった(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 初動が遅れ、状況把握や連絡網に支障が出た(嘉島町民会館)

(b)いいえ【数】9 / 水俣市文化会館・牛深市総合センター・人吉市カルチャーパレス・荒尾総合文化センター・つなぎ文化センター・あさぎり町須恵文化ホール・八千代座・美里町文化交流センター「ひびき」・菊陽町図書館ホール

## ●震災後、危機管理マニュアル及び体制の整備・見直しを行ったか?



### ●整備・見直しを行ったか?

(a)はい【数】12 / 熊本市市民会館・水俣市文化会館・玉名市民会館・熊本県立劇場・荒尾総合文化センター・天草市民センター・益城町文化会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・大津町生涯学習センター・菊池市文化会館・火の君文化センター・くまもと森都心プラザ

どのような点を見直したか?

具体的に→

- 災害発生時を想定した初期対応について、より細かく規定した(熊本市市民会館)
- 自然災害、人的要因等の個別の対応について、連絡体制、公演中止判断基準(見直し中)(水俣市文化会館)
- 他の文化施設の地震訓練等へも参加し、体制の見直しを行った(玉名市民会館)
- 催事当日の危機管理体制の強化と地震訓練の内容見直し(熊本県立劇場)
- 市対応マニュアルに準じて協力、強化した。また館内のマニュアル作成を計画(荒尾総合文化センター)
- 指定管理開始に合わせて公文協等のガイドライン等を参考に改編した(天草市民センター)
- 職員間の緊急連絡手段を電話からSNSへ変更など連絡網の見直し。ホール稼働時に地震が発生した場合の震度に応じての対応方法(フローチャート)の整備(益城町文化会館)
- 指定避難所ではないが、近隣の方が当館へ避難して来ることが分かったので当館独自で、備蓄品を備えている(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 火災避難訓練中心から、地震火災避難訓練を導入した。また、高齢者や障がい者の誘導を想定した避難訓練を実施(大津町生涯学習センター)
- 本庁担当課での見直し(熊本市植木文化センター)
- 市マニュアル全体見直し(火の君文化センター)
- 震災時は電話が繋がらないのでメールによる連絡や役員・センター長はSNSによる緊急グループをつくり、SNSによる連絡体制をとるようにした(くまもと森都心プラザ)

(b)いいえ【数】9 / 天草市牛深総合センター・人吉市カルチャーパレス・つなぎ文化センター・合志市文化会館・あさぎり町須恵文化ホール・ながす未来館・美里町文化交流センター「ひびき」・菊陽町図書館ホール・苓北町民ホール

### ●今後整備見直しを予定

(a)はい【数】15 / 八代市厚生会館・宇土市民会館・熊本市男女共同参画センターはあもにい・御船町カルチャーセンター・熊本市国際交流会館・熊本市健軍文化ホール・熊本市子ども文化会館・菊池市市民会館・ウイングまつばせ・上天草市松島総合センター「アロマ」・八千代座・やつしろハーモニーホール・清和文楽館・嘉島町民会館・グランメッセ熊本

どのような点を見直し予定か?

具体的に→

- 有効性を、継続的に維持または向上させるために、全体の改善を行う(八代市厚生会館)
- 少人数勤務態勢での避難誘導(宇土市民会館)
- 常に避難者、帰宅困難者を想定した体制と男女共同参画センターとして災害時の役割を協議中である(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- 地域防災計画の見直し(現在外部業者に案を発注中)(御船町カルチャーセンター)
- 行政と連携する中で、役割分担の明確化、指定管理者としての役割(熊本市国際交流会館)
- 避難所運営の項目を追加(熊本市健軍文化ホール)
- 検討中(熊本市子ども文化会館)
- 全ての災害についてのマニュアルが必要(菊池市市民会館)
- 災害時に伴う協定書の見直しを予定(ウイングまつばせ)
- マニュアルがなかったので、教訓を活かしマニュアルを作成し、職員間で共通理解を図っておく。また、行政とも役割を明確化し、情報を共有しておく(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 催事中止の決定過程の明文化(八千代座)
- 避難所になる場合を踏まえての危機管理(やつしろハーモニーホール)
- きちんとしたマニュアルが必要だと感じた。たまたま被害がでなかっただけで今後、どのような事が起こるか分からないので(清和文楽館)
- 防災担当課により作成中(嘉島町民会館)
- 災害避難所になった時のマニュアル等(グランメッセ熊本)

## 4. 危機管理システムについて

### ●BCP(事業継続計画)は策定していたか?



#### ●それは機能したか?

(a)はい【数】 2 / 熊本市植木文化センター・熊本市健軍文化ホール

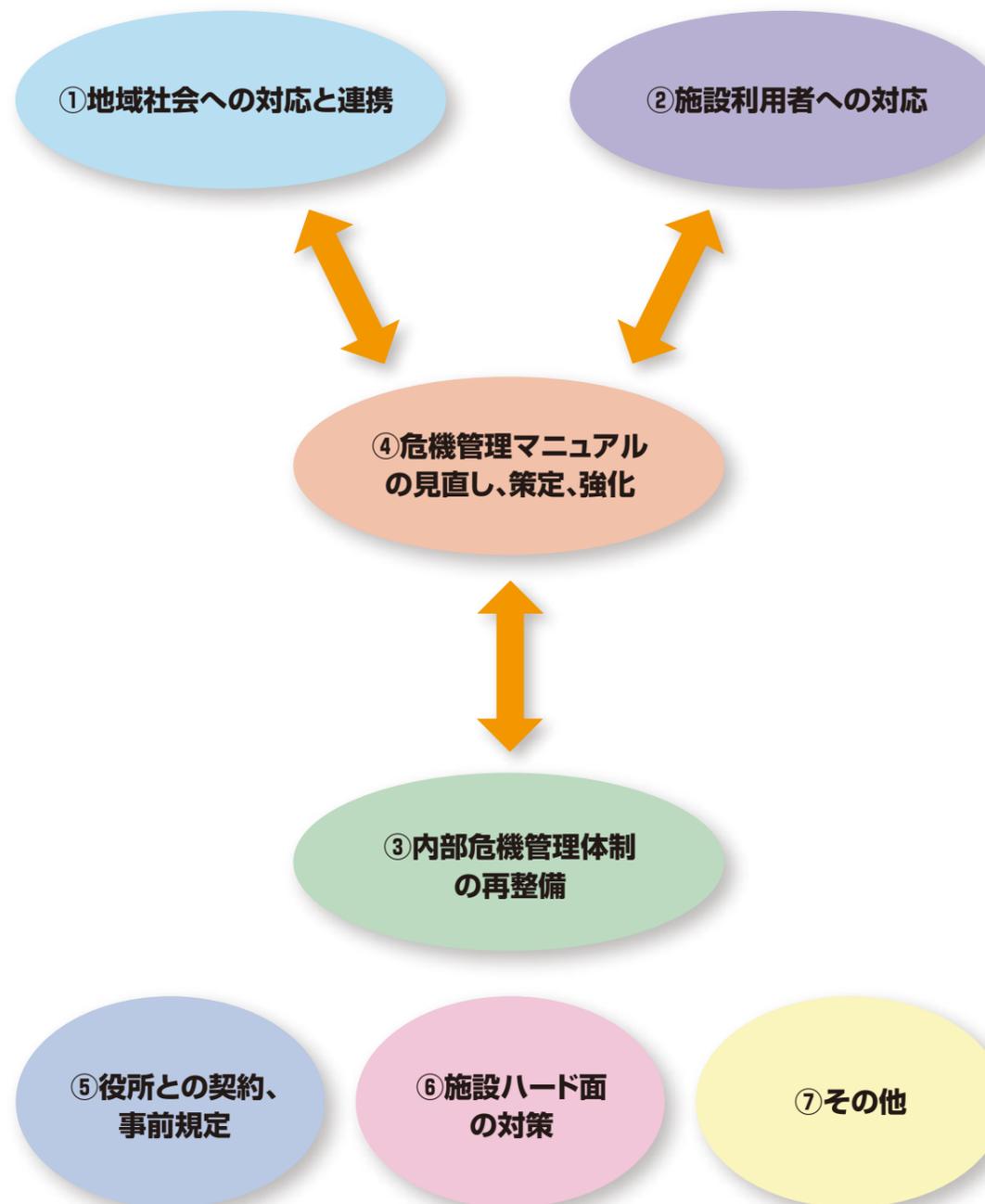
#### いいえ

#### ●今後、策定する計画はあるか?

(a)はい【数】11 / 八代市厚生会館・宇土市民会館・熊本県立劇場・玉名市民会館・荒尾総合文化センター・天草市民センター・熊本市男女共同参画センターはもにい・上天草市松島総合センター・やつしろハーモニーホール・清和文楽館・グランメッセ熊本(既に策定済み。必要に応じて適宜見直しを行っていく予定)

(b)いいえ【数】 16 / 熊本市市民会館・天草市牛深総合センター・人吉市カルチャーパレス・大津町生涯学習センター・つなぎ文化センター・御船町カルチャーセンター・熊本市国際交流会館(今の所はないが、今後、必要性を含め検証していく)・あさぎり町須恵文化ホール・火の君文化センター・ウイングまつばせ・八千代座・美里町文化交流センター・菊陽町図書館ホール・苓北町民ホール・くまもと森都心プラザ・嘉島町民会館

## 今回の震災を経験して見えてきた今後の課題



## 今回の震災を経験して見えてきた今後の課題

### ① 地域社会への対応と連携

#### 《アンケートコメントより》

##### ●避難者の受入と支援について

熊本県立劇場の場合、周囲が(指定避難所である)学校で囲まれているため、避難所として機能することはなかったが、本番中に地震があった場合は、帰宅困難者やけが人が発生して、避難者を数日受け入れる必要が出ていた可能性もある。

「指定避難所である場合」と「指定避難所でない場合」でも、避難者が集まる場所となったり、急遽指定される場合があるため、役割分担をあらかじめ明確化しておく必要がある(熊本県立劇場)

##### ●改めて、地域との連携、市民団体との連携の重要性を感じた。今回は地域がどのような状態だったか、把握するまでに時間がかかった。また混乱の中で市民団体との連絡もなかなか取れなかった。公共施設には全国各地から支援物資や支援団体等の情報が集まるので、それらを地域団体、市民団体等を通じていち早く被災者に届けるハブ的な役割もあるかと思う(熊本市男女共同参画センターはあもにい)

##### ●指定避難所でもなくても状況によっては避難者の自主的受入を念頭に物資の備蓄など。避難所開設にあたり必要なことを熟知しておく。そのために日頃から自治体や地域との連携を強化し情報共有・収集に努める(熊本市子ども文化会館)

##### ●当初避難者数が多く収集がつかない(駐車場に入りきれない)ほど集まった

避難者数の把握ができないと物資調達の数量が把握できない

物資が拠点に届いていたが避難所に届かなかった。日にちがたってやっと確立された。店等に物資が流通し始めても買いに行かずに物資を取りにこられた

集団感染予防の課題

避難所閉鎖時期及び受け入れ先の課題(仮設住宅等)(火の君文化センター)

##### ●当施設は避難所指定されておらず、今回のように多くの避難者が駐車場で車中泊をされることを想定していなかった。避難所指定がなくても避難所となることを踏まえ、関係する行政機関と事前に話し合いを持ち、施設としての役割を明確にする必要性を感じた。また、期間の定めのある指定管理者という立場で長期間を要する災害復旧に対応していくことには困難が多いと感じた(グランメッセ熊本)

### ② 施設利用者への対応

#### 《アンケートコメントより》

##### ●施設利用者への対応

1~2年前からの予約を受け付けている利用者に対してのキャンセルや、新たな予約者への対応に大変苦慮した。(熊本県立劇場)

### ③ 内部危機管理体制の再整備

#### 《アンケートコメントより》

##### ●今回の地震が前震、本震ともに利用者が不在の時間帯だったため、人的被害がなかった。しかし、日中であれば多くの人的被害がでたと考えられる。地震のみならず、大規模災害を想定した危機管理体制の再整備が課題である(大津町生涯学習センター)

##### ●被災した職員への対応。避難所の運営体制(熊本市健軍文化ホール)

##### ●防災力を身につけた職員の配置と職員の育成(上天草市松島総合センター「アロマ」)

##### ●消防訓練は毎年定期的に行っているが、地震対策訓練も今後は定期的に行わなければならない。連絡は電話が繋がらないのでSNSやメールでの連絡訓練が必要(くまもと森都心プラザ)

### ④ 危機管理マニュアルの見直し、策定、強化

#### 《アンケートコメントより》

##### ●災害は、マニュアルや想定を往々にして超えるため、その場合にも損害が最小限になるように、臨機応変に対応出来るような汎用性及び拡張性があるマニュアル及び体制の構築が課題(八代市厚生会館)

##### ●災害対応マニュアルの内容見直し、ブラッシュアップ・中長期改修計画の策定(宇土市民会館)

##### ●危機管理体制の整備・公演中止判断の仕方・少人数の開館運営のため利用者の協力体制及び周知方法(水俣市文化会館)

##### ●マニュアルをもっと強化し、いついかなる時も非常事態に対応できるようにしたい(玉名市民会館)

##### ●今回は前震、本震とも閉館中で館内が無人の状態だったため人的被害を受けずに済んだ。被災したことで、営業中だった場合の被害状況の予測ができ、可能な限り人的被害を受けずに済むよう避難誘導體制ほかマニュアル等に見直す余地がないか検討中(熊本市子ども文化会館)

##### ●避難所運営マニュアルなど参考となる資料の統一化が一番必要。ライフラインが使えない場合の避難所運営は難しい。行政との協定書の内容の細分化が必要(ウイングまつばせ)

##### ●具体的で活用法のあるマニュアル作り(連携機関と共同で作成等が必要)(上天草市松島総合センター「アロマ」)

##### ●地震を含めた危機管理マニュアルを早急に策定すべき(嘉島町民会館)

### ⑤ 役所との契約、事前規定

#### 《アンケートコメントより》

##### ●市との契約書にも明記する必要がある(菊池市市民会館)

##### ●行政との協定書の内容の細分化が必要。また、指定管理と行政との災害時における役割分担・リスク分担の取り決めも必要(ウイングまつばせ)

### ⑥ 施設ハード面の対策

#### 《アンケートコメントより》

##### ●天井の耐震化(当館も立体トラス工法による落下防止の工事を実施)(熊本市民会館)

##### ●今回の地震でありとあらゆるものが倒れたが、その中でキャストの付いたもの(袖の音響卓やプロジェクター、平台や長机、スタッキングチェアなど)だけが、定位置から動いてはいたものの、倒れずに現状を維持していた。他館では耐震用にアンカーを打ち、完全に固定された棚さえも倒れていたため、揺れ方や揺れた方向にもよるが、備品や機材をキャスト付台車や棚で保管することも耐震用の有効な手段かと思われる(益城町文化会館)

##### ●避難所となるケースが多いことから災害に強い施設(ハード面)づくり(上天草市松島総合センター「アロマ」)

## 今回の震災を経験して見えてきた今後の課題

## ⑦ その他

## 《アンケートコメントより》

- 避難所運営で施設を閉館する場合、震災等により行き場をなくす子どもや母親などへの支援策を考え、それをスムーズに実行できる体制づくり(熊本市子ども文化会館)

記録に残しておきたい、  
今後伝えておくべきだと思う情報は？

- 災害は、どこにでも誰にでも起こりうることであり、他人事という意識を捨てることがなにより大切であるということ(八代市厚生会館)
- 全国の劇場スタッフが同じ状況に立たされたときに参考になるような細かい情報【予約者へ利用料還付等の連絡方法、そこで起こった利用者からのクレーム対処、施設の保守点検業者への連絡、日程調整、作業工程調整】(宇土市民会館)
- 設置者との連携をとり、報告、相談をこまめに行う必要がある  
被害状況をできるだけオープンにし、開館できない理由をマスコミやホームページ等で発信する  
いつ、どこで、何が起きて、誰がどのように対応したか？後で振り返った時のために、全職員で記録を取っておく。写真や動画なども可能な限り残しておく(熊本県立劇場)
- 「最終判断者」の選定。公演中の災害時に対応できるようなスタッフ配置と全員共有意識(水俣市文化会館)
- 万が一また日本で地震が起きた時人命が一人でも多く救えるように、今回の熊本地震における各文化施設の対応や経過をまとめておきたい(玉名市民会館)
- 施設の復旧には、思った以上に時間がかかること。公共施設としての災害時の役割を明確化し、行政だけでなく、地域団体ともすり合わせをしておくことで、緊急時にも地域コミュニティの一員としてより効果的に機能できる。また、災害時には、被災者支援を第一に、従来の業務以外のことにも対応できる柔軟性も必要(熊本市男女共同参画センターはあもにい)
- ホール客席天井は在来工法による吊天井である。4月14日の前震では粉がパラパラ降る程度であったが、4月16日の本震で照明が設置されている個所が1畳程の大きさで脱落するとともに、その他の個所でも落ちかけていた。その後、天井面が大きく脱落したのは5月9日であった。ホール客席は立入禁止としていたので、人への被害はなかったが余震にも十分な注意が必要である。  
震災後の生活の復旧は想像以上に困難である上に、職場の仕事もこなしていかなければならない。心労や睡眠不足などで体力が低下し、体調を崩す職員もいる。災害について日頃から家族と話し合い、職場内でも気づき支え合うなどのことが必要である(熊本市健軍文化ホール)
- 地震は仕方がないが地震後の対応は案件ごとに残した方が良い(菊池市市民会館)
- 今回の地震で近くの企業が備蓄されていた水・アルファ米等を早急に搬送していただき大変助かった(火の君文化センター)
- ①地震発生時にとった人々の避難行動  
②ボランティア、支援者のとった具体的行動  
③避難所の課題、よかったところ  
④熊本城が1年毎に復活していく姿  
⑤具体的な被害状況(写真なども含めて)(上天草市松島総合センター「アロマ」)
- 施設の被災状況や復旧工事などを写真パネル化し館内に展示。地震を風化させないようにしたい。公共施設の指定管理者として行政との間に災害時対応に関する事前協定を締結しておく必要がある(グランメッセ熊本)